

通し番号	5206
------	------

分類番号	R05-15-14-01
------	--------------

北相地域における茶の重要害虫であるチャノキイロアザミウマおよびチャノミドリヒメヨコバイの発生活動の解明	
[要約] 茶栽培において重要害虫となるチャノキイロアザミウマおよびチャノミドリヒメヨコバイは、北相地域では年間 7 世代発生する。	
神奈川県農業技術センター・北相地区事務所	連絡先 042-685-0203

[背景・ねらい]

茶の害虫の発生は、近年の気候変動により早まる傾向がみられる。そこで、北相地域において製茶の品質および二番茶期以降の茶の生育に大きな影響を及ぼす主要害虫である、チャノキイロアザミウマおよびチャノミドリヒメヨコバイの発生活動を解明する。

[成果の内容・特徴]

- 1 チャノキイロアザミウマおよびチャノミドリヒメヨコバイの北相地域での発生は、3月の越冬世代を除き年間7世代である（図1，3）。
- 2 チャノキイロアザミウマおよびチャノミドリヒメヨコバイの幼虫は、成虫の発生が多くなる時期と同時期に多くなる傾向があり、世代が混在していると考えられる（図2，4）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 本試験研究には品種「やぶきた」を供試した。
- 2 チャノキイロアザミウマおよびチャノミドリヒメヨコバイの成虫と幼虫は混在して発生していることから、防除のタイミングは成虫の発生状況で判断できる。
- 3 発生ピーク時期は天候等の影響から年ごとに変動する。

[具体的データ]

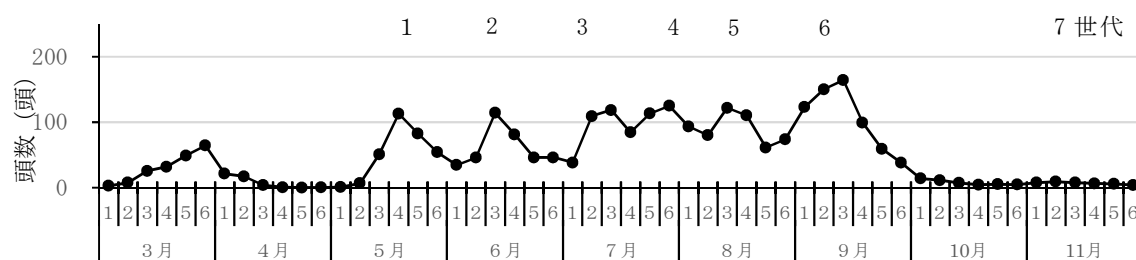


図 1 チャノキイロアザミウマ成虫の発生消長 (黄色粘着トラップ法、5 年間平均)

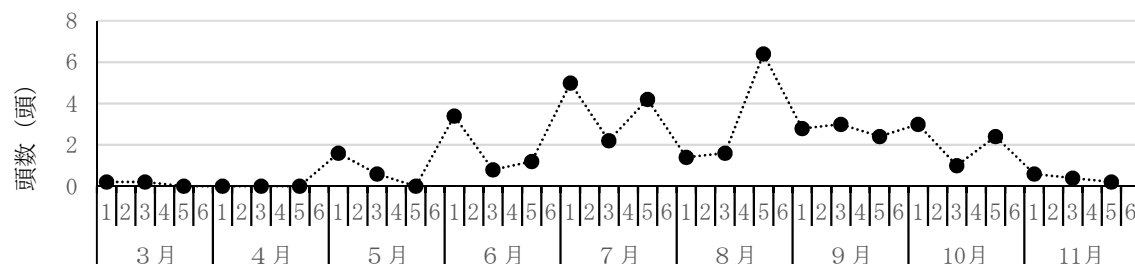


図 2 チャノキイロアザミウマ幼虫の発生消長 (たたき出し法、5 年間平均)

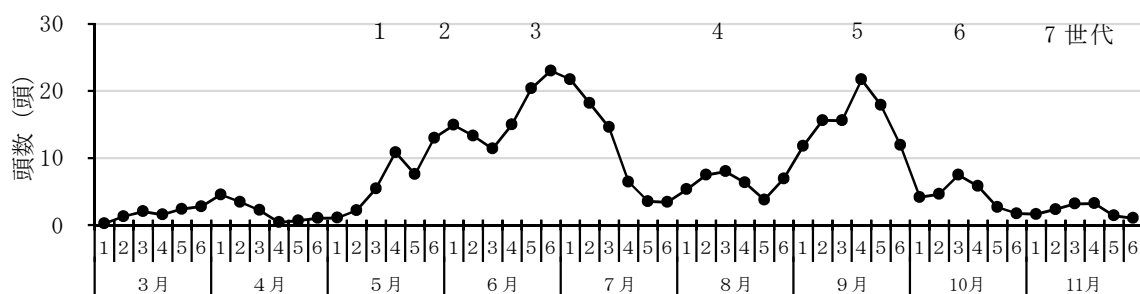


図 3 チャノミドリヒメヨコバイ成虫の発生消長 (黄色粘着トラップ法、5 年間平均)

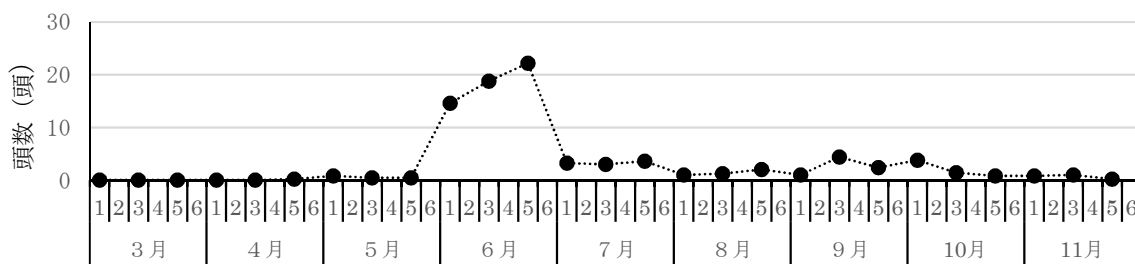


図 4 チャノミドリヒメヨコバイ幼虫の発生消長 (たたき出し法、5 年間平均)

[資 料 名] 令和 5 年度試験研究成績書 茶・園芸作物

[研究課題名] チャノキイロアザミウマ及びチャノミドリヒメヨコバイの発生消長の解明

[研究 期 間] 2019(令和元)年度～2023(令和 5)年度

[研究者担当名] 嶋津貴紀

[協力・分担関係]